



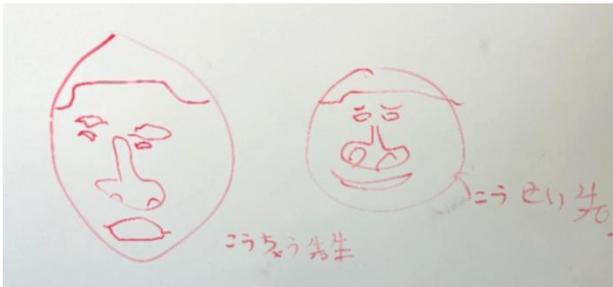
だより



R6.9.25 Vol.20

じわる…

3年生の男の子が、校長室にやってきて、「似顔絵描いていいですか?」「いいよー!」と描いてくれたのがこれです。



いやあ…じわりました。(爆笑)『なぜ白目のの?』『頭とがってるんだけど、永沢君?』そんなことを思いながら、横に描かれたその子の担任の先生を見ると…

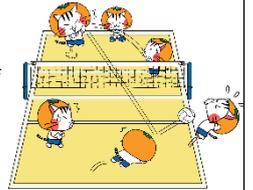
この先生、私が何かすると、すぐ茶々をいれてくるんですが、その時の表情がまさにこれ!子供ってほんとによく見てますね。

バレー全国大会出場 おめでとう!

ご存じの方だらけだと思いますが、さる9月7、8日に Jr バレーの四国大会が開催され、真穴ジュニアバレーボールクラブが見事、準優勝に輝き、全国大会への切符を手にしました。

コーチの方とお話をしたのですが、この規模の学校のチームが全国大会に出場するというのは本当にすごいことだと。私も全く同感です。市内水泳・陸上記録会でリレーチームが上位に入るだけでもすごいことなのに、それが全国大会出場というレベル。低学年の頃から練習を積み重ねてきた成果ですね。

ある地域の会合に出た時、地域の方も口々に、「真穴小、全国出場みたいですね!すごい!」と称賛されていました。大会は3月とまだ先の話ですが、全国での活躍も心から祈っています。がんばれ!真穴っ子!!



四方山話真穴 ver. 其の二十(運動会を終えて)

先日の運動会。暑い中にも関わらず、多数のご来校、また競技への参加、本当にありがとうございました。おかげさまで盛会のうちに運動会を終えることができました。

真穴小に赴任してきて行事を終えるたびに思うことがあります。それは保護者や地域の方のパワー、そして協力体制の素晴らしさです。副会長さんがPTA役員会で「まあ、そこまでかっちり役割分担しなくても、みなさんがどんどん動いてくれますから、大丈夫ですよ!」そんなことをおっしゃっていました。まさにそれ!運動会を通してそれを実感しています。「昔はもっとよかったんやけどなあ…」別の地域でそんな話をきくことがあります。社会が変わり世代が変わっていく中、ある意味それは仕方のない面があります。しかし、この真穴では良き伝統が脈々と受け継がれている気がします。春祭りに参加した後にも少しこの便りで触れましたが、親から子に、子から孫にと受け継がれているこの真穴の地域性。一人の人間として学ぶことだらけです。

運動会の中で、子供の名前がコールされるたびに「イエーイ!」と起こる歓声!全力で競技に取り組む子供の姿、またそれを応援する保護者の方、地域の方、まさに真穴が一体となって運動会が進んでいる!そう感じました。入院している男の子が、「声」でしっかり運動会に参加し、盛り上げてくれたことも大変うれしいことでした。そこに姿はなくても、46人全員で取り組んだ運動会になったと確信しています。

この地域の素晴らしさに感謝しつつ、自分は校長として子供たちのために何ができるのか、これからもしっかり考えていきたいと、思いを新たにしたり日でもありました。本当にありがとうございました。これからもご協力よろしくお願ひします。

